

(6)

建設部の目標

安全で安心できる 「歴史と文化が息づくまち」にします

社会資本の整備や自然災害対策の推進、長寿命化計画に基づく老朽化施設の更新を行い、安全で安心できる居住環境を整えます。

また、市の歴史や伝統文化を守りながら、まち中居住や適切な土地利用の誘導、空き家・空き店舗対策の推進、低未利用地や歴史的建造物など既存ストックを活用した住みやすい白河を市民と共に築きます。

【実現に向けて】

道路河川課

- 道路・河川を適切に管理し、安全・安心な居住環境を目指します。

建築住宅課

- 安全・安心で快適に暮らせる住環境の整備を目指します。

まちづくり推進課

- 歴史や伝統・文化が息づく魅力ある居住空間を形成します。

都市計画課

- 安全で住みやすい魅力のあるまちづくりを推進します。

文化財課

- 市の歴史や伝統文化を守りながら適切にいかすことで、郷土愛の醸成を目指します。



道路河川課

めざすまちの姿

道路・河川を適切に管理し、
安全・安心な居住環境を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

本市が管理する道路は、延長が 1,013 k m、その中に橋梁が 403 橋、トンネルが 2 箇所あり、これらの社会資本を日々安全な状態で維持する必要があります。このことから、定期的な点検による管理修繕計画の更新と管理修繕計画に基づく補修を行います。

また、気候変動の影響等により激甚な災害が頻発しています。激甚化・頻発化する自然災害等から市民の命と暮らしを守り、安全で安心して生活できる居住環境を実現するため、道路・河川の防災減災対策を推進します。

さらに、全国的に問題となっている環境負荷の低減、災害時における交通機能の維持、国民の健康増進など、新たな課題に対応するための取組みを進めていく必要があります。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 道路内に点在する橋梁については 403 橋あり、高度経済成長時代に建設された橋梁が多く補修が必要な状況となっております。補修にあたっては、損傷が進行する前に計画的に手当てをする「予防保全型」と、損傷状況を見定めて対策を行う「事後保全型」を組み合わせた管理手法「組み合わせ型」を採用することにより、長期的な維持管理コストの縮減と安全性の更なる向上を目指す必要があります。
- 令和元年度の台風 19 号災害では、中小河川において、甚大な被害が発生したため、護岸の強化を行う必要があります。
- 市街地における老朽化した道路側溝は、道路や宅地の冠水を引き起こす恐れがあり、腐食した縞鋼板蓋は通行障害や騒音発生など生活環境悪化の原因となっているため、道路側溝の改修を行う必要があります。
- 経年劣化で舗装にひび割れやわだち掘れが発生し、走行性の低下や振動など生活環境に悪影響を及ぼしているため、舗装補修を行う必要があります。
- 市内の道路は、歩車道空間に段差が存在したり、狭あいだったりなどするため、安全で快適な自転車利用空間を確保する必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

管理する社会資本の長寿命化計画の策定

- 社会資本整備計画に基づき長期的な視点により道路整備に取り組みます。
- 橋梁長寿命化修繕計画に基づき長期的な視点により橋梁の長寿命化に取り組みます。
- トンネル長寿命化修繕計画に基づき長期的な視点によりトンネルの長寿命化に取り組みます。
- 道路施設総合維持管理計画に基づき長期的な視点により道路整備に取り組みます。

防災・減災対策の実施

- 緊急自然災害防止対策事業（河川）により、準用・普通河川の浸食による崩壊の恐れがある護岸を補強します。
- 緊急浚渫推進事業により、河道内に堆積した土砂や繁茂した樹木等の撤去を行い河川の流下断面を確保します。
- 緊急自然災害防止対策事業（道路防災）により、老朽化した道路側溝の改修を行います。
- 公共施設等適正管理推進事業により、舗装補修を行います。

自転車走行空間のネットワーク化と整備

- 国・県の推進計画や関連する各種計画を踏まえ、本市における自転車活用に関する総合的な計画として白河市自転車活用推進計画を策定し、自転車走行空間の整備を行います。

関連する計画

- 白河市社会資本整備計画
- 白河市橋梁長寿命化修繕計画
- 白河市トンネル長寿命化修繕計画
- 白河市道路施設総合維持管理計画
- 白河市緊急自然災害防止対策事業計画(河川)
- 白河市緊急浚渫推進事業計画(河川)
- 白河市緊急自然災害防止対策事業計画(道路防災)
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画
- 白河市都市計画マスタープラン
- 白河市みらい創造総合戦略
- 白河市観光振興計画
- 第 2 次白河市地域福祉計画
- 第 2 次いきいき健康しらかわ
- 生涯学習推進計画
- 第 3 次白河市環境基本計画
- しらかわ地域定住自立圏第 2 期共生ビジョン

建築住宅課

めざすまちの姿

安全・安心で快適に暮らせる 住環境の整備を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

本市では、急激な人口減少や少子高齢化、空き家の増加、頻発する自然災害など、住まいを取り巻く社会情勢が目まぐるしく変化しており、様々な住まいに対するニーズへの対応が求められることから、安全・安心で快適に暮らせる住環境づくりに向けた取組みを一層進めていく必要があります。

このことから、公共建築物の整備や民間住宅への支援などを通じて、市民の日常生活の基盤である住環境の向上を図り、良好な都市や街並みを形成するとともに、環境負荷に配慮したゼロカーボンシティの実現を目指しながら、安全・安心に生活できるまちづくりに努めたいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 近年、住生活を取り巻く課題が複雑化していることから、安全で安心した生活ができる支援策が必要です。
- 震災以降、旧耐震基準で建築された戸建住宅等の安全性の確保が求められていることから、安全性の確保のための支援が必要です。
- 空き家等は増加傾向にあり、適切な管理が行われずに防災、衛生及び環境面などにおいて様々な問題が生じていることから、空き家等の適正な管理が必要です。
- 市営住宅は老朽化が進み、維持管理が大きな課題となっています。また、人口減少による市営住宅の適正戸数の見直しを進めていく必要があります。
- 高度経済成長時代に建設された市有建築物が建物としての寿命を迎えつつあり、長寿命化するための改修・改築を行う必要があります。
- ゼロカーボンシティを実現するため、今後新築する市有建築物について、環境負荷を低減した ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化^{※1}を目指す必要があります。



◆ 課題を解決するための取組み

安心して快適に生活できる住環境づくり

- 旧耐震基準で建築された木造住宅や、建築基準を満たしていないブロック塀等の耐震化を支援し、災害に強いまちづくりを推進していきます。
- 保安上危険となるおそれのある空き家については、「特定空家等^{※2}」として認定し、助言・指導等により、適正な管理を促していきます。

住宅ストック等の適正化

- 住宅の省エネルギー化や脱炭素社会に向けた取組みを推奨し、住宅ストックの効果的・魅力的な改修等を支援していきます。
- 市営住宅については、白河市営住宅長寿命化計画に基づく長期的な視点による改善と居住水準の向上を図り、住宅セーフティネットとしての機能維持に取り組んでいきます。
- 低所得者や高齢者などの要配慮世帯に対しては、福祉部局と連携し安定した住宅の供給に取り組んでいきます。
- 市営住宅の空き住戸については、時代の変化にあわせた住宅政策に活用し、地域の活性化を図っていきます。
- 老朽化した市営住宅については、地域の需要を踏まえつつ、統廃合等による集約化を段階的に進め、入居者が安全で安心に生活できるよう良好な住環境整備に取り組んでいきます。
- 建物の長寿命化対策に役立つ新しい技術の情報収集に努め、改修工事での採用を検討します。
- 建築物に対するエネルギー政策の情報収集に努め、市有建築物の ZEB 化への取組みを進めていきます。

関連する計画

- 白河市耐震改修促進計画
- 白河市営住宅長寿命化計画
- 公共施設等総合管理計画
- 白河市空家等対策計画
- 公共施設個別施設計画

用語解説

※1 ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）化：建物で消費する年間の一次エネルギーの収支ゼロを目指した建物のこと。

※2 特定空家等：空家のうち、放置することが不適切な状態にある建物（その敷地を含む）のこと。

まちづくり推進課

めざすまちの姿

歴史や伝統・文化が息づく魅力ある居住空間を形成します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

本市では、住宅や商業機能が郊外に拡散する一方、核家族化や少子高齢化、生活スタイルの変化により、従来の地域コミュニティの希薄化や伝統文化の担い手不足が深刻化しています。

このことから、都市機能がコンパクトに集積し歴史や文化に厚みのある中心市街地の特性をいかながら、良好な生活空間を形成することで、歴史的建造物や空き家などの既存ストックを活用したまちづくりを展開したいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 中心市街地の店舗の廃業等により空き店舗が増加し、商店街としての魅力が低下していることから、まちなかに賑わいを創出する必要があります。
- 歴史的建造物や空き家の放置は、生活環境や良好な景観に深刻な影響を及ぼすことから、適正な管理や利活用の促進を図っていく必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

まちなかの賑わい創出

- 歩いて暮らす「まちなか暮らし」の魅力を発信するとともに、民間のまちづくり活動を支援し、来街者や交流人口を増加させる取組みを充実していきます。
- 市民のニーズを捉えた店舗等のまちなかへの出店を支援し、商店街の魅力や経済活力の向上を図っていきます。
- 中心市街地活性化事業と連携した空き店舗バンクの運営により、空き店舗の利活用を促進します。

歴史まちづくりの推進

- しらかわ検定や白河かるた[※]、まち歩きツアーなどのイベント開催を継続し、郷土の歴史や伝統文化への理解、郷土愛の醸成を図ります。

- 歴史的建造物の活用の促進や保全の相談、修景への支援等を行い、まちの回遊性を高めるとともに、旧城下町らしい景観の保全に努めます。

空き家対策の推進

- 空き家の利活用を促進するため、所有者や利活用希望者を対象としたセミナーを開催するとともに、改修などに対する支援を実施します。
- 空き家の売却などを希望する所有者と、空き家の利用を希望する方のマッチングを図るため、空き家バンクを充実させます。

まちなか居住の推進

- 空き家・空き地対策を一元化し、低未利用土地の活用促進とまちなかへの居住を推進します。
- まちなかへの居住につなげるため、宅地造成や子育て世帯等の住宅取得に対する支援を行います。



旧脇本陣柳屋旅館蔵座敷

関連する計画

- 白河市中心市街地活性化基本計画
- 白河市中心市街地活性化基本計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画
- 白河市空家等対策計画

用語解説

※ 白河かるた：白河を代表する様々な事象を詠んだ「郷土かるた」のこと。令和3年に白河かるた振興委員会が設立され、読み句の一般公募や絵札の制作に取り組み、令和5年3月に完成した。



都市計画課

めざすまちの姿

安全で住みやすい魅力のあるまちづくりを推進します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

本市は、田園風景が広がる豊かな自然環境のもと、城下町の歴史や文化が薫る特色ある街並みを形成しています。駅周辺には市民の生活を支える医療機関や商業施設、公共施設、公共交通などが数多く集積し、利便性が高いものの、将来利用者の減少によって機能の維持ができなくなることにより生活が不便になることや、空き地や空き家・空き店舗の増加によって住環境が悪化することなどが懸念されています。

このことから、都市環境の充実や景観まちづくりを通じて、まちなかに「住みたい」「事業を行ってみたい」「もっと住みやすいまちにしたい」と思う人が増えてほしいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 市民が安心して暮らしていくためには、歩いて行ける範囲に医療機関や商業施設、公共施設があることが望ましいことから、これらを維持するため、その周辺に居住を誘導し、施設の利用者を増やす必要があります。
- 居住を誘導するためには、そこに住む魅力を高める必要があることから、道路や歩道、公園などの整備を進め住環境の向上を図るとともに、本市の特色である歴史や文化、景観をいかし、若者や高齢者、子育て世代をはじめ多くの人々が住みたいと思えるまちをつくりあげる必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

立地適正化計画の推進

- 市民生活を支える施設や公共交通の利用者を増やし、それらを維持するため、低未利用土地の利活用促進や建築規制等の適正化を図るとともに、城下町の歴史や文化、景観の魅力向上の取組みと連携することにより、市街地の人口密度を高めます。
- 用途地域等の建築規制や開発許可の適正化を図り、新たな居住やビジネスの創出につなげます。

都市計画道路や公園の整備による都市環境の充実

- 若者や高齢者、子育て世代が安全で住みやすい魅力あるまちづくりを推進するため、都市計画道路の見直しや住民のニーズにあった公園の検討・整備を進めるとともに、公園の適切な管理により子育て世代をはじめ多くの人々が住みたいと思える住環境の維持・向上を図ります。

良好な景観の形成による魅力あるまちづくりの推進

- 住民の生活に潤いと安らぎを与え、地域への誇りや愛着を育むとともに、来訪者が本市の歴史や伝統文化、自然を体感できる美しい「ふるさと白河」を築くため、景観に関する情報の積極的な発信や、景観まちづくり活動団体の育成を通じた住民参加による景観形成の取組みを推進します。
- 質の高い屋外広告物の表示等について適切に規制・誘導を行うとともに、未申請広告物や違反広告物を解消することにより、良好な景観の維持を図ります。



全線開通した国道294号白河バイパス（小峰大橋から小峰城の石垣を望む）

関連する計画

- 白河市都市計画マスタープラン
- 白河市立地適正化計画
- 白河市景観計画
- 白河市地域公共交通網形成計画
- 白河市歴史的風致維持向上計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画
- 史跡名勝南湖公園第2次保存管理計画
- 史跡名勝南湖公園整備基本計画
- 白河市観光振興計画

文化財課

めざすまちの姿

市の歴史や伝統文化を守りながら適切にいかすことで、郷土愛の醸成を目指します。

◆ めざすまちの姿を設定した背景と想い

本市には、歴史や風土の中で育まれてきた史跡や伝統芸能、天然記念物などをはじめとした数多くの文化財が残されており、まちに品格と魅力を与えています。

しかしながら、東日本大震災や頻発化する自然災害による文化財への被害や、全国的な人口減少・少子高齢化の進行に端を発した後継者減少による文化財の散逸、民俗行事の存続危機など、本市の歴史や伝統文化を取り巻く環境は厳しい状況といえます。

このことから、本市の歴史や文化を後世に伝えていくために、文化財を様々な手段を講じて保存していくとともに、地域のために活用することで、地域に息づく様々な文化財や先人の守り伝えてきた郷土の歴史・伝統文化に誇りや愛着をもってほしいと考えています。

◆ めざすまちの姿を達成するための課題

- 市内各所に所在する文化財は、市や地域のシンボルとして適切に保存していくと同時に、市民が文化財について学び、理解する機会を設けるなどの環境を整えていく必要があります。
- 有形無形の文化財を良好な状態で後世に伝えていくため、現況の調査を行いながら保護措置及び支援を図る必要があります。

◆ 課題を解決するための取組み

文化財の保護

- 文化財の保存と活用のバランスを図りながら、後世に良好な状態で伝えるための措置を講じます。特に、常に公開され見学がしやすい史跡の中でも、多くの人が訪れる場所については、園路や景観の整備、案内板などの設置、パンフレットの作成などにより、訪れた人々がその魅力を身近に感じることができるようにします。
- 埋蔵文化財包蔵地内における開発行為に対しては、今後も適切な指導や助言を行い、必要に応じて発掘調査等を実施し、埋蔵文化財の保護に努めます。

- 「白河市文化財保存活用地域計画」に基づき、市内全域を対象に、未指定文化財の調査を進めるとともに、必要に応じて指定文化財として指定するなど保護に努めます。

無形民俗文化財への支援・協力

- 少子高齢化により大きく影響を受けている無形民俗文化財に対し、行事継続のための活動支援を行います。

調査成果等による文化財の活用

- 調査を行った資料は、必要に応じて一定のテーマのもと企画展を開催するなど、市民へ白河の様々な歴史文化について紹介する機会を創出します。
- 調査を行った成果を、市民が分かりやすく、かつ研究者が活用できる報告書などとして発行し、広く公開します。



小峰城跡園路整備状況（帯曲輪）

関連する計画

- 史跡小峰城跡保存管理計画
- 史跡小峰城跡整備基本計画
- 史跡名勝南湖公園第2次保存管理計画
- 史跡名勝南湖公園整備基本計画
- 史跡白河舟田・本沼遺跡群、白河官衙遺跡群保存活用計画
- 白河市文化財保存活用地域計画
- 公共施設等総合管理計画
- 公共施設個別施設計画